

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：保育実習Ⅰ（施設） 英語表記：PracticeⅠ(Nursing School)		単位数：2単位 (10日間)実習	担当教員名：高橋努、浅野瞳
ナンバリング：2703			担当形態：複数
科目/系列	／保育実習		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	／保育実習Ⅰ		
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b> 1. 児童福祉施設等における保育士の役割や仕事の内容を、体験することで理解できる。 2. 現代の子どもたちが抱える虐待の問題や、施設で生活する子どもたちの実情を理解できる。 3. 子どもの権利、障害児の実情などを知り、現場での体験から理解を深めることができる。			
<b>【授業の概要】</b> 保育所や児童福祉施設等の役割を理解し、子どもの観察や関わりを通して理解を深め、既習の教科目の内容を踏まえて保育や保護者支援を総合的に理解する。さらに、保育計画や観察・記録なども理解し、専門職としての保育士の業務内容や役割・職業倫理などを具体的に理解する。			
<b>【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】</b>			関連性
<b>【知識・理解・技能】</b>			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
<b>【思考・判断・表現】</b>			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			○
<b>【関心・意欲・態度】</b>			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
<b>【授業計画】</b> <b>【前半】（施設理解、利用者理解）（1日目～5日目）</b> 施設職員の指導のもとに、施設の概要や職員の業務について理解を深め、また、生活している乳幼児や児童及び利用者の生活支援・活動支援を行うことにより、コミュニケーション技術の向上を図る。 コミュニケーションを図ることにより、施設を利用している乳幼児や児童及び利用者、地域とのかかわりや家族とのかかわりなど、様々なことに目を向け、施設や乳幼児等の抱える問題等の理解を深める。 <b>【後半】（利用者理解、保育士としての専門知識について考える）（6日目～10日目）</b> 乳幼児や児童、及び利用者の生活サイクルにあわせ、施設保育士がどのような役割を持ち、どのように活動しているか実践を通して理解を深めていく。施設によっては、部分実習を行う場合がある。また、設定した実習課題の達成に向けて積極的に実習に取り組む。  定期試験：なし		<b>【授業時間外の学習】</b> 保育実習Ⅰ（施設）は、学校指定の配属先で原則宿泊にて実習を行う。 そのため、 1. 事前に配属先の施設に関する情報を集める。（1時間） 2. 配属先の利用者や児童についての情報を集め、理解を深める。（2時間） 3. 文献資料等を活用して理解を深める。（2時間）  などの授業外学習が重要である。	
<b>【授業の方法】</b> 児童福祉法にある児童福祉施設（保育所を除く）及び障害者施設等での実習。フィードバックについては、施設からの評価をもとに、個別面談を実施。			

<p><b>【テキスト】</b> 『施設実習ガイド - 保育者として成長するための事前事後指導学習 - 』駒井美智子編著 萌文書林</p>	
<p><b>【参考書・参考資料等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習先でのオリエンテーション及び実習において、実習のしおり、実習生の心得等の資料を配布。</li> <li>・チェックリストをもとに、事前準備等を行う。</li> </ul>	
<p><b>【学生に対する評価】</b> 福祉施設における実習の評価（40％）、実習課題（実習計画）（30％）、事前・事後学習で提出したレポート（30％）。（レポート評価には、ルーブリック評価を活用する。）</p>	
<p><b>【履修上の注意】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・履修登録時の記載漏れが多いので必ずチェックを忘れないこと。</li> <li>・保育実習指導Ⅰ（施設）を必ず履修すること。</li> <li>・入所施設での実習を効果的に行うために、事前に施設でのボランティア活動や関連文献を通して、施設の機能、施設保育士の職務内容と役割・入所児童等について理解を深めるように努めること。</li> <li>・10日間の実習を通して、施設保育士の役割をきちんと理解し、保育士としての専門性を見つけられるよう、事前学習、事前準備をしっかりと行うこと。</li> <li>・副読本として、本学の『実習の手引き』を使用する。</li> </ul>	
実務経験の有無：有	実務経験：高橋・浅野：施設勤務（社会福祉士）
<p><b>【実務経験を生かした教育内容】</b> 施設での実習生指導の経験を活かし、実習日誌の記入方法や実習目標の考え方などを説明、実習先の種別に合わせた目標設定ができるよう授業を行う。</p>	